

## 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

### （分担）研究報告書

#### 次期患者体験調査に向けた高齢患者を対象とした調査票の検討

研究分担者	市瀬雄一	国立がん研究センター	がん対策研究所	医療政策部	研究員
研究協力者	渡邊ともね	国立がん研究センター	がん対策研究所	医療政策部	研究員
研究協力者	力武涼子	国立がん研究センター	がん対策研究所	医療政策部	研究員
研究協力者	山元遥子	国立がん研究センター	がん対策研究所	医療政策部	研究員
研究協力者	角和珠妃	国立がん研究センター	がん対策研究所	医療政策部	研究員

研究要旨：本研究は、第1回患者体験調査と比較し、第2回患者体験調査では、調査票全体には回答するが一部の問いに回答しない無回答の割合が特に高齢がん患者において増加したことを背景として、無回答の理由を検証することを目的とした。一部のがん診療連携拠点病院でがんと診断された65歳以上の高齢者を対象として、一部の設問の選択肢を尺度方式と多選択肢方式に変更した調査票2種類をランダムに割り付け、2郡間での無回答の割合を比較した。国内の4施設から1500名（調査票A 750名、調査票B 750名）に対して調査票を発送し、769名（調査票A 389名、調査票B 380名）を回収した（回収率51.3%）。調査に同意があり、がんと診断されたことがあると回答した712名（調査票A 364名、調査票B 348名）を解析対象とした。性別等の属性等の無回答割合は2郡間で差が見られなかったが、選択肢の形式を実施した間においては統計的に有意に尺度方式において無回答割合が多かった。尺度方式は、直感的にわかりやすいが、高齢がん患者にとっては無回答につながる傾向が見られた。本結果を受け、次期の調査では、設問の選択肢は他選択肢方式で提示する予定である。

#### A. 研究目的

平成30年患者体験調査の調査票は、平成26年度の1回目の調査に引き続き、国のがん対策の進捗評価を行うことを目的とした調査である。評価の視点で患者の体験は中心的存在であり、本調査は全国の患者とその家族の体験したがん診療の実情を把握するものである。第2回患者体験調査は、平成29年度に閣議決定された第3期がん対策推進基本計画に沿って、平成26年度に使用された第1回患者体験調査の質問紙の改定を行い、調査表の再設計が行われた。第1回調査と比較し、第2回調査では、調査全体には回答をするが一部の質問のみ回答しない無回答の割合が増えた（詳細は平成30年度患者体験調査報告書参照）。一部質問の選択肢を多選択肢からリッカート尺度方式に変更したことが要因として検討された。特に、高齢のがん患者においてその傾向が顕著であったため、次期調査に向けて、選択肢の提示方法について検討する必要がある。

本研究は、選択肢の一部のみを変更した2種類の調査票を用意し、65歳以上の患者に無作為に割り付けて、2郡間の回答傾向を比較することで、無回答の要因について検討することを目的とする。

#### B. 研究方法

第1回患者体験調査と第2回患者体験調査において調査票の構成が変更になっており、選択肢の提示方法を変更していた。この変更で無回答の違いを検証するため、一部の設問の選択肢を第2回調査に合わせたリッカート尺度方式（調査票A）と第1回調査に合わせた多選択方式（調査票B）に変更した2種類調査票を用いて郵送法調査を実施した。参加協力が得られた国内4つのがん診療連携拠点病院の患者を対象として、院内がん登録を用いて2021年にがんと診断され、同一施設で治療開始した65歳以上の患者を対象とした。調査期間は、2023年1月から3月末まで。患者が亡くなっている場合や、調査時に入院している等、本人が回答できないことが発送前にわかる場合は調査対象から除外した。

サンプルサイズは、有意水準を10%、検出力を80%とし、効果量5%をみこんで各群382名が必要と算出されたため、50%の回収率を見込んで4施設で合計1500名へ依頼することとした。調査対象者を750名ずつの2群に分け、それぞれに異なる調査票を発送し、調査に同意が得られた患者のみを解析対象とした。2群間にて各問における無回答割合を比較した。さらに、調査に同意した患者に対して、追加でインタビュー調査に協力いただける方には別途インタビュー調査も実施し、質問紙の回答のしやすさについて直接感想を聞いた。

本研究は、国立がん研究センターの倫理審査委員会にて承認を得て実施している(2022-224)。

### C. 結果

合計1500名(調査票A 750名、調査票B 750名)に対して調査票を発送し、調査票A 389名、調査票B 380名から調査票を回収した(回収率51.3%)。回収した調査票のうち、管理番号が不明な票(11名)、調査への同意が得られない票(35名)、がんと診断されたことがないと回答した票(11名)、本人以外の回答(55名)を除外し、最終解析対象者は調査票Aで331名、調査票Bで326名となった。

男性が64.0%(A 61.3%, B 67.1%,  $p=0.12$ )、平均年齢は76.0歳(A 76.3歳、B 75.8歳、 $p=0.21$ )であり、2郡間で差はなかった。

各設問の無回答の割合を算出し、2郡間で比較を行ったところ、年齢やがん種等の基本情報や、異なる調査票で同一の設問形式の大部分では無回答の割合に差はなかった。一方で、選択肢の変更をしたほとんどの問において、リッカート尺度とした調査票Aの患者において無回答の割合が高かった。特に治療中の診療体験に関しての9つの設問において、いずれの間でも調査票Aで無回答割合が多かった(問23-1, 10.2% vs. 5%,  $p=0.02$ ; 問23-2, 10.8% vs. 3.7%,  $p<0.01$ ; 問23-3, 12.3% vs. 5%,  $p<0.01$ ; 問23-4, 12.3% vs. 6.5%,  $p=0.01$ ; 問23-5, 8.6% vs. 2.8%,  $p<0.01$ ; 問23-6, 12% vs. 4.6%,  $p<0.01$ ; 問23-7, 10.2% vs. 2.5%,  $p<0.01$ ; 問23-8, 10.8% vs. 2.5%,  $p<0.01$ ; 問23-9, 9% vs. 1.2%,  $p<0.01$ )。調査後の患者へのインタビューでは、選択肢の変更に対して、リッカート尺度で無回答になりえる明確な理由については聴取できなかった。一部の患者は、リッカート尺度の方が回答しやすいという感想をもらった。さらに、実際に無回答で返送してきた対象者へもインタビューしたが、特に明確な理由はなく、なんとなく飛ばしてしまったとのことだった。

### D. 考察

結果から、65歳以上の患者において調査票の形式を比較したところ、選択肢がリッカート尺度の方が、多選択肢よりも無回答の割合が多池行こうとなることがわかった。リッカート尺度は、回答者にと

って視覚的にも直感的にも選択することが容易であり、解析時にも数値として扱うことができるため様々な解析に役立てることが可能である一方、問が大きく1つの塊になっているため質問に回答せずに次の質問に移ることも容易である可能性がある。また、途中で問の形式が変更となることで、回答者にとっては、途中で変化が起こることでスムーズに回答できない可能性もある。一方で、視覚的にすべてを独立した問いとして扱う多選択肢方式の方が途中で形式変更等はないため、調査に回答する時間が寄りかかる可能性はあるが、回収率に違いがなかった。今後、受けた治療の有無による無回答割合の違い等、詳細な解析をし、年齢以外の要因についても検討をしていく予定である。

### E. 結論

本研究より、高齢患者では、多選択肢方式での提示方法は、リッカート尺度と比較して無回答割合が少ないことが明らかになった。今回の調査で、回収率の差もないことから、次期の調査では多選択肢方式にて調査票の改訂を検討していく必要がある。

### G. 研究発表

1. 論文発表
1. Tomone Watanabe, Ryoko Rikitake, Tamaki Kakuwa, Yuichi Ichinose, Mariko Niino, Yu Mizushima, Masato Ota, Manami Fujishita, Yoichiro Tsukada, Takahiro Higashi. Time to Treatment Initiation for Six Cancer Types: An Analysis of Data from a Nationwide Registry in Japan. World journal of surgery 1-10 2023年1月6日
2. Yuichi Ichinose, Yi-Hsin Yang, Hui-Jen Tsai, Ru-Yu Huang, Takahiro Higashi, Toshiro Nishida, Li-Tzong Chen. Imatinib use for gastrointestinal stromal tumors among older patients in Japan and Taiwan. Scientific reports 12(1) 22492-22492 2022年12月28日
3. 力武 諒子, 渡邊 ともね, 山元 遥子, 市瀬 雄一, 新野 真理子, 松木 明, 太田 将仁, 坂根 純奈, 伊藤 ゆり, 東 尚弘, 若尾 文彦. がん診療連携拠点病院等の指定要件に関する調査. 厚生 の指標 69(6) 15-21 2022年6月
4. 力武 諒子, 渡邊 ともね, 山元 遥子, 市瀬 雄一, 新野 真理子, 松木 明, 太田 将仁, 坂根 純奈, 伊藤 ゆり, 東 尚弘, 若尾 文彦. がん診療連携拠点病院等の指定要件関連の詳細に関する実態. 病院 81(5) 436-441 2022年5月
2. 学会発表
1. 市瀬雄一, 力武諒子, 山元遥子, 石井太祐, 角和珠妃, 松木明, 新野真理子, 渡邊ともね, 東尚弘. がん診療連携拠点病院等のセカンドオピ

- ニオン提供体制と患者の認識. Journal of Epidemiology 33 2023年2月
2. Yuichi Ichinose, Tsutomu Toida, Tomone Watanabe, Takafumi Wakita, Takahiro Higashi. Comparing the Advanced Cancer Patient Experiences of Three vs. Six Years after Diagnosis in Japan. International Conference on Health Policy Statistics 2023年1月
  3. 永吉 真子, 加藤 承彦, 可知 悠子, 越智 真奈美, 近藤 天之, 市瀬 雄一, 竹原 健二. 父親の家事・育児頻度と母親が子のお尻をたたく行動との関連 21世紀出生児縦断調査. 日本公衆衛生学会総会抄録集(1347-8060)81回 2022年10月
  4. 高山智子, 市瀬雄一, 渡邊ともね, 東尚弘. がん診療連携拠点病院がん相談支援センターの利用状況と医療の質との関連に関する研究. 日本公衆衛生学会総会抄録集 2022年10月
  5. 市瀬雄一, 渡邊ともね, 新野 真理子, 角和 珠妃, 山元 遥子, 東 尚弘. 経口抗がん剤服用患者を対象とした服薬管理に関する理解度調査. 日本公衆衛生学会総会抄録集 2022年10月
  6. 須藤 茉衣子, 杉山 雄大, 今井 健二郎, 井花 庸子, 細澤 麻里子, 市瀬 雄一, 新野 真理子, 竹上 未紗, 臼田 謙太郎, 児玉 知子, 田口 怜奈, 佐藤 美寿々, 田中 素子, 竹原 健二, 磯 博康. 日本におけるレセプトデータ研究の概況 スコーピングレビュー. 日本公衆衛生学会総会抄録集(1347-8060)81回 2022年9月

#### H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

## 患者体験調査 予備調査協力をお願い

～日本の医療の改善のために、あなたの体験を聞かせてください～

注：当調査はがんではない方にもお願いしております。以下をお読み下さい

「がん」や「がん以外」の病気にかかられた患者さんを対象としたアンケート調査（患者体験調査）を行ってまいります。

この調査は、患者さんやその家族の方々が体験した医療や社会生活における実態をお伺いし、課題を明らかにすることにより、国の施策に反映していくことを目的としております。国のがん対策を推進するために、平成26年（がん対策推進基本計画が策定され、現在は、第3期目となっております。国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部では、がん対策推進基本計画の中間評価として、患者さんやその家族が体験したがん診療について調査する「患者体験調査」を実施してきました。過去の調査に関しては、当部のHPにも掲載しております（<https://www.ncc.go.jp/jp/icc/health-serv/project/040/index.html>）。がん対策においても経年的な評価が欠かせないことから、来年度、第3回患者体験調査を実施する予定となっております。今回の調査は、令和5年度に実施予定の「第3回患者体験調査」に先行して、調査方法や調査内容をより適切なものにするための調査です。

本調査は、国立がん研究センター研究倫理審査委員会の厳正な審査のもと、承認を受けています。

- 回答は任意であり、回答が無い場合も不利益が生じることは一切ありません。
- 回答時間は15～30分程度です。
- 回答内容を、受診されている医療機関にお知らせすることは一切ありません。

ただし、回答の返送状況の管理と医療機関から提供される診療情報との結合のため、調査票上に管理番号が付与されています。）

今回ご協力いただく調査で得た結果に関しては、個人情報に配慮した上で、個人を特定できない形で報告書等にとめる予定です。研究期間は、研究の許可日から令和6年3月31日までです。

上記の趣旨をご理解しご同意いただける方は、この調査用紙にご回答の上、令和5年2月28日までに同封の返信用封筒を使って郵便ポストへ投函していただきますようお願い申し上げます。未筆ながら、時節柄、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 東尚弘

## 記入に関するお願い

- ◆アンケートは、患者さんご自身（封筒の宛名の方）についてお伺いするものです。
- ◆病状などにより、患者さんご本人にご記入いただくことが難しい場合は、ご家族や代理の方がご記入ください。
- ◆設問の回答は、直接この調査票の該当する項目に、鉛筆またはボールペンで○を付けてください。

### 【調査票の返送先】

ご記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**令和5年2月20日（月）**までにポストへ投函してください。調査票、及び返信用封筒に住所・氏名を記入する必要はありません。

### 【この調査に関するお問い合わせ先】

国立がん研究センター がん対策研究所 医療政策部  
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1  
Eメール：campi@ncc.go.jp

**問1. 冒頭の説明を読み、この調査に参加することに同意しますか（○は1つ）**

- 1. 同意します → 次の問いへお進みください。
- 2. 同意しません → 調査終了です。ありがとうございました。

**問2. 回答者はどなたですか（○は1つ）**

- 1. 患者本人 → 問4へ
- 2. 家族 → 問3へ
- 3. その他 ( ) → 問3へ

**問3. 【問2で（家族）または（その他）と答え方のみお答えください】  
ご本人以外が回答される理由をお答えください（○は1つ）**

- 1. 本人が体調不良のため
- 2. 体調不良はないが、本人の回答が困難なため
- 3. 亡くなったため
- 4. その他 ( )

**患者体験調査 アンケート用紙**

こちらのアンケート用紙を返信用封筒に入れ、そのままポストにご投函ください。

調査票、及び返信用封筒に住所・氏名を記入する必要はありません。



ここからは「治療前」のことについてお伺いします。

2種類以上のがんについて治療された場合には、主な治療をしたがんについてお答えください。  
また、以降の問いに関しても、そのがんについてお答えください。

問11. なんらかの症状や検診で異常があった初めて病院・診療所を受診した日から、医師からがんと診断されるまで（「がんの疑い」を含みません）、おおよそどのくらいの時間がかかりましたか（○は1つ）

1. 2週間未満
2. 2週間以上 1ヶ月未満
3. 1ヶ月以上 3ヶ月未満
4. 3ヶ月以上 6ヶ月未満
5. 6ヶ月以上
6. わからない

問12. 医師からがんと診断されてから（「がんの疑い」を含みません）、最初の治療が始まるまで、おおよそどのくらいの時間がかかりましたか（○は1つ）

1. 診断される前に治療が行われていた
2. 2週間未満
3. 2週間以上 1ヶ月未満
4. 1ヶ月以上 3ヶ月未満
5. 3ヶ月以上 6ヶ月未満
6. 6ヶ月以上
7. 治療なし
8. わからない

問13. 以下の文章の内容は患者さんにとどの程度当てはまるかをお答えください（○は1つ）

あまり	そう	やや	どちらともいえない	そう思う
そう	思われない	思われない	思われない	そう思う

1. あなたは、「がんの治療」を決めるまでの間に、医療スタッフから治療に関する十分な情報を得ることができた

1

2

3

4

5

一部のがん治療は、不妊へ影響することがあります。

問14から問17は、他の質問同様に年齢／性別に関係なく、すべての方がお答えください。

問14. 最初のがん治療が開始される前に、医師から不妊症になる可能性について説明がありましたか？（○は1つ）

1. 不妊への影響がある、という説明を受けた → 問15へ
2. 不妊への影響はない、という説明を受けた → 問16へ
3. 説明はなかった → 問16へ
4. わからない → 問16へ

問15. 【問14で（不妊への影響がある、という説明を受けた）と答えた方のみお答えください】  
がん治療により不妊症になる可能性があることについて、それを予防する、あるいは、子供を作る機会を温存するための具体的な方法を医師から説明されましたか（○は1つ）

1. 予防・温存の具体的な方法については説明がなかった
2. 予防・温存の具体的な方法は存在しないと説明があった
3. 予防・温存の具体的な方法を説明された
4. わからない

問16. 最初のがん治療が開始される前に、医師から不妊症になる可能性について説明は必要でしたか（○は1つ）

1. 必要であった
2. 必要ではなかった

問17. がん治療による不妊症になる可能性に対応するために、実際に、精子や卵子等の保存や、治療方法の変更（薬の変更を含む）を行いましたか（○は1つ）

1. 行った
2. 行わなかった
3. わからない

ここからは「治療中」のことについてお伺いします。

**問 1 8. 治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したことがありますか (○は 1 つ)**

- 1. ある → 問 1 9 へ
- 2. ない → 問 2 0 へ

**問 1 9. [問 1 8 で (ある) と答えた方のみお答えください]  
治療費用負担の問題が無ければ受けたであろう治療は以下のどれでしたか  
(当てはまるものすべてに○)**

- 1. 保険診療範囲外の治療 (先進医療を含む)
- 2. 保険診療範囲内の治療

**問 2 0. がんの治療で次に挙げたような自費診療 (保険診療範囲外) を受けましたか ?  
(当てはまるものすべてに○)**

- 1. 先進医療
- 2. その他 ( )
- 3. 自費診療は受けなかった

**問 2 1. がんの治療中に民間の医療保険を利用しましたか (○は 1 つ)**

- 1. 利用した
- 2. 利用しなかった
- 3. わからない

**問 2 2. 病院で医療を受けるために必要な金銭的負担が原因で、次に挙げたようなことがありましたか  
(当てはまるものすべてに○)**

- 1. 日常生活における食費、衣料費を削った
- 2. 受診の間隔を延ばしたり、受診を一時的に見送ったりした
- 3. 主治医に処方薬や治療法を安価なものに変更してもらった
- 4. 治療頻度や治療内容 (薬など) を主治医に相談せずに自分で減らした
- 5. 長期に貯蓄していた貯金を切り崩した
- 6. 収入を増やすため、家族が仕事を増やした、あるいは働くようになった
- 7. 金銭的負担のために患者本人が仕事を続けた、あるいは、転職した
- 8. 親戚や他人から金銭的援助を受けた (借金を含む)
- 9. 車、家、土地などを手放した、あるいは引っ越した
- 10. 家族の進学先を変更した (進学をやめた/転校した)
- 11. その他 ( )
- 12. 上記のようなことは無かった
- 13. わからない



問23. 以下の文章の内容は患者さんほどの程度当てはまるかをお答えください（○は1つ）  
 なお、治療をしなかった方【問9で（治療していない）と回答された方】は、問24へお進みください。

	あまり	そう	どちら	や	そう
	思わ	思わ	とも	や	思
	ない	ない	い	そう	う
	い	い	ない	思	思
	ない	ない	い	う	う
1. 治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得られた	1	2	3	4	5
2. 生活上の留意点について（食事や注意すべき症状など）医療スタッフから十分な情報を得られた	1	2	3	4	5
3. 治療による副作用の予測などに見通しを持ってた	1	2	3	4	5
4. つらい時はすみやかに対応してくれた	1	2	3	4	5
5. がん治療を担当した医師は相談しやすかった	1	2	3	4	5
6. がん治療を担当した医師以外で相談しやすい医療スタッフがいた	1	2	3	4	5
7. 医療スタッフは、あなた（患者さん）の言葉に耳を傾け、理解しようとしてくれていた	1	2	3	4	5
8. あなた（患者さん）のことに関して治療に関係する医療スタッフ間で十分に共有されていた	1	2	3	4	5
9. がん治療を担当した医師は専門的な医療を提供してくれた	1	2	3	4	5

ここからは「診断から治療の全期間」のことについてお伺いします。

問24. セカンドオピニオン<sup>〔注〕</sup>について担当医から説明がありましたか（○は1つ）

1. 説明があった →問25へ
2. 説明はなかった →問26へ

〔注〕セカンドオピニオン：診断治療に関して、現在診療を行っている医師とは別の医療機関の医師の意見を聞くこと

問25. 【問24で（説明があった）と答えた方のみお答えください】  
 セカンドオピニオンについて担当医から説明を受けたのはいつですか（当てはまるものすべてに○）

1. がんの疑いがあり診断が確定する前
2. がんの診断時
3. 診断後、初回治療までの間
4. 初回治療中
5. その他（ ）

問26. 実際にセカンドオピニオンを受けましたか（○は1つ）

1. 受けた
2. 受けなかった
3. わからない

問 2 7 . がんが診断されてから、病気のことや療養生活に関して誰かに相談することができましたか  
(○は 1 つ)

1. 相談を必要としなかった
2. 相談が必要だったが、相談できなかった
3. 相談できた

相談内容を、差し支えなければ最後の自由記載欄にお書きください。

問 2 8 . がん治療による外見の変化(脱毛や皮膚障害などを含む) に関する悩みを誰かに相談できましたか  
(○は 1 つ)

1. 相談を必要としなかった
2. 相談が必要がわからなかった
3. 相談したかったが、できなかった
4. 相談できた

問 2 9 . 今回のがんの診断・治療全般について総合的に 0 - 1 0 で評価すると何点ですか？  
0 点が考えられる最低の医療、1 0 点が考えられる最高の医療とします (数字 1 つに○)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  
(考えられる最低) (考えられる最高)

受けた医療についてのご意見がある方は、最後の自由記載欄にお書きください。

ここからは「就労」のことについてお伺いします。

問 3 0 . 患者さんは、がんと診断された時、収入のある仕事をしていますか (○は 1 つ)

1. はい → 問 3 1 へ
2. いいえ → 問 3 9 へ

問 3 1 . 【問 3 0 で (はい) と答えた方のみお答えください】  
主とするお仕事における就業形態についてお答えください(○は 1 つ)

1. 正規の職員・従業員
2. パート・アルバイト
3. 契約職員・嘱託職員
4. 派遣職員
5. 個人事業主 (自家営業の手伝い含む) → 問 3 3 へ
6. 会社の役員
7. その他 ( )

問 3 2 . 【問 3 1 で (個人事業主 (自家営業の手伝い含む) ) と答えた方以外お答えください】  
治療と仕事を両立するために利用したのについて、お答えください (当てはまるものすべてに○)

1. 両立に関して専門の担当者や産業者や産業医へ相談をした
2. 時間単位、半日単位の休暇制度 (定期的・不定期に取得する休暇)
3. 傷病休暇・病気休暇
4. 時差出勤 (長さは所定の労働時間で出勤をずらす)
5. 短時間勤務制度 (所定労働時間を一定期間、短縮する制度)
6. 在宅勤務 (テレワーク)
7. 試し出勤 (長期間休業していた者に対し、復職時に一定期間、時間や日数を短縮した勤務を行うこと)
8. その他 ( )
9. 上記のものは利用していない

問 3 3 ~ 3 8 は、がんと診断されたときに、収入のある仕事をしていただいた方にお伺いします。  
仕事をしていた方、問 3 9 へお進みください。

問 3 3. その時働いていた職場や仕事上の関係者にがんと診断されたことを話しましたか (○は 1 つ)

1. 話した → 問 3 4 へ
2. 話さなかった → 問 3 5 へ
3. わからない → 問 3 5 へ

問 3 4. 【問 3 3 で (話した) と答えた方のみお答えください】

がんと診断されたことを誰に話しましたか (当てはまるものすべてに○)

1. 所属長・上司
2. 同僚
3. 部下
4. 人事労務担当者
5. 会社の医療スタッフ
6. 労働組合
7. 勤務先相談窓口
8. その他 ( )

問 3 5. 以下の文章の内容は患者さんにとどの程度当てはまるかをお答えください (○は 1 つ)

	あまり	どちら	やや	そう	5
	そう	思わ	思わ	思わ	4
	思わ	ない	ない	ない	3
	ない	ない	ない	ない	2
	ない	ない	ない	ない	1
1.	がんの治療中に、職場や仕事上の関係者から、治療と仕事を両方続けられるような勤務上の配慮が十分に受けられた				

問 3 6. 治療を始める前に就労の継続について、病院の医療スタッフから話がありましたか (○は 1 つ)

1. あった
2. なかった

問 3 7. 治療を始める前に就労の継続について、病院の医療スタッフからの説明を必要としていましたか (○は 1 つ)

1. 必要としていなかった
2. 必要としていた
3. わからない

問 3 8. がんで初めて治療・療養した以降の仕事状況についてお答えください  
(1) がんと診断された時の仕事について、がん治療のために以下のようなことがありましたか (○は 1 つ)

1. 休職・休業はしたが、退職・廃業はしなかった → (2) ①と②へ
2. 退職・廃業した → (3) ①と②へ
3. 上記のようなことはなかった → 次ページ(問 3 9)へお進みください
4. わからない → 次ページ(問 3 9)へお進みください

(2) 休職・休業された方にお尋ねします

①休職・休業中に利用した制度についてお答えください (当てはまるものすべてに○)

1. 有給休暇
2. 有給休暇以外の金銭的保障 (賞金、傷病手当金、療養見舞金等) を伴う休み
3. 金銭補償を伴わない休み
4. その他 ( )

②その後、どのようにされましたか (○は 1 つ)

1. (少なくとも一度は)復職した
2. (一度も)復職してない

(3) 退職・廃業をされた方にお尋ねします

①退職のタイミングをお聞かせください (○は 1 つ)

1. がんの疑いがあり診断が確定する前
2. がん診断直後
3. 診断後、初回治療を待っている間
4. 初回治療中
5. 初回治療後から当初予定していた復職までの間
6. 一度復職したのち
7. その他 ( )

②その後、どのようにされましたか (○は 1 つ)

1. 再就職・復業した
2. 再就職・復業の希望はあるが現時点では無職
3. 再就職・復業の希望はない
4. その他 ( )

退職の理由に関して、差し支えなければ最後の自由記載欄にお書きください。

ここからは「現在」のことについてお伺いします。

以降の問いは、記入者の方のご意見をお伺いします。

**問 3 9 . 以下の文章の内容は患者さんほどの程度当てはまるかをお答えください (○は 1 つ)**

	あまり	そう	やや	どちらともいえない	そう	5
	そう	思わ	や	思わ	思	4
	ない	な	そ	な	う	3
	い	い	う	い	う	2
1. 一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩した	1	2	3	4	5	
2. がん患者の家族の悩みや困りごとを相談できる支援・サービス・場所が十分ある	1	2	3	4	5	

**問 4 0 . がん相談支援センター<sup>※</sup>を知っていますか (○は 1 つ)**

- 1. 知っている →問 4 1 へ
- 2. 知らない →問 4 4 へ

「注」がん相談支援センター：全国のがん診療連携拠点病院などに設置されているがんに関する相談窓口

**問 4 1 . 【問 4 0 で (知っている) と答えた方のみお答えください】**

これまでに、がん相談支援センターを利用したことがありますか (○は 1 つ)

- 1. 利用したことがある →問 4 2 へ
- 2. 利用したことはない →問 4 3 へ

**問 4 2 . 【問 4 1 で (利用したことがある) と答えた方のみお答えください】**

がん相談支援センターを利用してどの程度役に立ったと思えますか (○は 1 つ)

- 1. 役に立たなかった
- 2. あまり役に立たなかった
- 3. どちらともいえない
- 4. やや役に立った
- 5. とても役に立った

**問 4 3 . 【問 4 1 で (利用したことはない) と答えた方のみお答えください】**

利用しなかった理由についてお聞かせください (当てはまるものすべてに○)

- 1. 必要としていたときには知らなかった
- 2. 相談したいことはなかった
- 3. 何を相談する場なのかわからなかった
- 4. プライバシーの観点から行きづらかった
- 5. 自分の相談を受け止めてもらえるか自信がなかった
- 6. 他の患者の目が気になった
- 7. その他 ( )

問4 4. ピアサポート<sup>注</sup>を知っていますか (○は1つ)

- 1. 知っている →問4 5 へ
- 2. 知らない →問4 8 へ

「注」ピアサポート：患者・経験者やその家族がピア（仲間）として体験を共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること

問4 5. 【問4 4で（知っている）と答えた方のみお答えください】

これまでに、ピアサポートを利用したことがありますか (○は1つ)

- 1. 利用したことがある →問4 6 へ
- 2. 利用したことはない →問4 7 へ

問4 6. 【問4 5で（利用したことがある）と答えた方のみお答えください】

ピアサポートを利用してどの程度役に立ったと思いますか (○は1つ)

- 1. 役に立たなかった
- 2. あまり役に立たなかった
- 3. どちらともいえない
- 4. やや役に立った
- 5. とても役に立った

問4 7. 【問4 5で（利用したことはない）と答えた方のみお答えください】

利用しなかった理由についてお聞かせください（当てはまるものすべてに○）

- 1. 必要としていたときには知らなかった
- 2. 相談したことはなかった
- 3. 何を相談する場なのかわからなかった
- 4. プライバシーの観点から行きづらかった
- 5. 自分の相談を受け止めてもらえないか自信がなかった
- 6. 他の患者の目が気になった
- 7. その他 ( )

問4 8. 臨床試験<sup>注</sup>とは何か知っていますか (○は1つ)

- 1. 聞いたことがない
- 2. 聞いたことはあるが、あまり知らない
- 3. ある程度知っている
- 4. よく知っている

「注」臨床試験：薬や医療用具などの有効性や安全性などを検討するために行われる人を対象とした研究のこと

問4 9. ゲノム情報を活用したがん医療<sup>注</sup>について、知っていますか (○は1つ)

- 1. 聞いたことがない
- 2. 聞いたことはあるが、あまり知らない
- 3. ある程度知っている
- 4. よく知っている

「注」ゲノム情報を活用したがん医療：がん細胞の遺伝子の異常を調べ、それに基づく治療を行うこと

患者さんご本人の「現在」のことについてお伺いします。

患者さん本人がご記入の場合は、続けてください。

ご本人以外の方がご記入の場合は、問52へお進みください。

問50. 以下の文章の内容は患者さんにどの程度当てはまるかを答えてください（○は1つ）

	あまり そう 思わ ない	どちら とも いえ ない	やや そう 思っ た	そう 思っ た
1. がんになったことで、家族に負担（迷惑）をかけていると感じる	1	2	3	4
2. がんになったことで、家族以外の周囲の人に負担（迷惑）をかけていると感じる	1	2	3	4
3. がんを診断されてから周囲に不必要に気を使われていると感じる	1	2	3	4
4. （家族以外の）周囲の人からがんに対する偏見を感じる	1	2	3	4
5. 身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できる	1	2	3	4
6. 心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できる	1	2	3	4
7. 現在自分らしい日常生活を送れている	1	2	3	4

問51. 以下の文章を読んで、現在のあなた自身にどの程度当てはまるかを答えてください（○は1つ）

	あまり そう 思わ ない	どちら とも いえ ない	やや そう 思っ た	そう 思っ た
1. がんやがん治療に伴う痛みがある	1	2	3	4
2. がんやがん治療に伴う痛みに加えて、吐き気、息苦しさ、だるさ、しびれ、かゆみなど、からだの苦痛がある	1	2	3	4
3. がんやがん治療に伴い、気持ちがつらい	1	2	3	4
4. がんやがん治療にともなう身体の苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を送る上で困っていることがある	1	2	3	4
5. 身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分である	1	2	3	4

診断時の状況について

2020年以降に患者さん本人のがんと診断された時の状況についてお伺いします。  
(2種類以上のがんについて治療された場合には、主に治療したがんについてお答えください)

問52. がんと診断された時、患者さんご本人と同居していた家族はいましたか (○は1つ)

1. 同居していた家族はいた → 問53へ  
2. 同居していた家族がいなかった → 問54へ

問53. 【問52で(同居していた家族はいた)と答え方のみお答えください】

がんと診断された時、同居および世帯を共にしていた家族構成についてお答えください。  
該当する家族がいた場合はその人数を記載してください。いなかった場合は、0名と記載してください。

1. 患者の親 ( 名)  
2. 患者の兄弟姉妹 ( 名)  
3. 患者の配偶者 (いる/いない)  
4. 患者の子 ( 名)  
5. その他 ( )

差し支えなければ、下記の質問に関してお答えください。  
答えたくない質問がある場合は、空欄のまま結構です。

問54. 診断時の患者さん本人の最終学歴についてお答えください (○は1つ)

1. 小学校または中学校卒業  
2. 高等学校卒業  
3. 短大・高専卒業  
4. 4年制大学卒業  
5. 大学院卒業  
6. その他 ( )

問55. 診断時の患者さんの世帯年収についてお答えください (○は1つ)

1. 400万円未満  
2. 400万円以上、800万円未満  
3. 800万円以上

問56. この1年で、家計の支払い(税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど)に困ったことはありましたか (○は1つ)

1. ない  
2. 1回ある  
3. 2~3回ある  
4. 4~5回ある  
5. 6回以上ある

問57. この1年間に、給与や年金の支給日前に、暮らしに困ることがありましたか (○は1つ)

1. ない  
2. 1回ある  
3. 2~3回ある  
4. 4~5回ある  
5. 6回以上ある

問58. 友人・知人と連絡する機会<sup>[注]</sup>はどのくらいありますか (○は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1~2回 | 3. 月に1~2回 |
| 4. 年に数回   | 5. なし     |           |

[注] 連絡方法は電話、メール、手紙など何でも構いません

問59. 家族や親せきと連絡する機会<sup>[注]</sup>はどのくらいありますか (○は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1~2回 | 3. 月に1~2回 |
| 4. 年に数回   | 5. なし     |           |

[注] 連絡方法は電話、メール、手紙など何でも構いません

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。  
ご意見等ございましたら、アンケート最終ページの自由記載欄にお書きください。

問60~66は、がんと診断されたことがない方にお伺います。

<現在通院中の病気について、診断・治療を受ける上での考えについてお答えください。>  
現在通院中の病気がない場合は、2021年に診断された病気のうち主なものについてお答えください。

問60. 患者さんが通院中の病気ではまるものをすべてお答えください (当てはまるものすべてに○)

- |             |              |                      |
|-------------|--------------|----------------------|
| 1. 高血圧      | 2. 糖尿病       | 3. 脂質異常 (高コレステロールなど) |
| 4. 胃、腸の病気   | 5. 甲状腺の病気    | 6. 喘息や呼吸器の病気         |
| 7. 心臓の病気    | 8. 腎臓、前立腺の病気 | 9. 肝臓、胆のうの病気         |
| 10. 脳卒中、脳梗塞 | 11. 精神・神経の病気 | 12. 貧血など血液の病気        |
| 13. 骨・関節の病気 | 14. その他( )   |                      |

ここからは「治療前」のことについてお伺いします。

問61. 以下の文章の内容は患者さんほどの程度当てはまるかをお答えください (○は1つ)

1.	あなたは、治療を決めるまでの間に、医療スタッフから治療に関する十分な情報を得ることができた	1	2	3	4	5
		あまり	やや	ちょうど	やや	とても
		思わぬ	思わぬ	思わぬ	思わぬ	思わぬ
		ない	ない	ない	ない	ない



ここからは「治療中」のことについてお伺いします。

**問6 2. 以下の文章の内容は患者さんほどの程度当てはまるかをお答えください（○は1つ）**

	あまり そう 思わ ない	どちら とも いえ ない	やや そう 思っ た	そう 思っ た
1. 治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得られた	1	2	3	4 5
2. 生活上の留意点について（食事や注意すべき症状など） 医療スタッフから十分な情報を得られた	1	2	3	4 5
3. 治療による副作用の予測などに見通しを持ってた	1	2	3	4 5
4. つらい時はすみやかに対応してくれた	1	2	3	4 5
5. 治療を担当した医師は相談しやすかった	1	2	3	4 5
6. 治療を担当した医師以外で相談しやすい医療スタッフがいた	1	2	3	4 5
7. 医療スタッフは、あなた（患者さん）の言葉に耳を傾け、 理解しようとしてくれていた	1	2	3	4 5
8. あなた（患者さん）のことにに関して治療に関係する医療スタッフ 間で十分に共有されていた	1	2	3	4 5
9. 治療を担当した医師は専門的な医療を提供してくれた	1	2	3	4 5

**問6 3. 今回の病気の診断・治療全般について総合的に0 - 10で評価すると何点ですか？**  
**0点が考えられる最低の医療、10点が考えられる最高の医療とします（数字1つに○）**

(考えられる最低)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	(考えられる最高)
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-----------

受けた医療についてのご意見がある方は、最後の自由記載欄にお書きください

ここからは「現在」のことについてお伺いします。

以降の問いは、記入者の方の意見をお伺いします

**問6 4. 以下の文章の内容は患者さんほどの程度当てはまるかをお答えください（○は1つ）**

	あまり そう 思わ ない	どちら とも いえ ない	やや そう 思っ た	そう 思っ た
1. 一般の人が受けられる医療は数年前と比べて進歩した	1	2	3	4 5
2. 患者の家族の悩みや困りごとを相談できる支援・サービス・場所 が十分ある	1	2	3	4 5

**問6 5. 臨床試験<sup>〔注〕</sup>とは何か知っていますか（○は1つ）**

- 1. 聞いたことがない
- 2. 聞いたことはあるが、あまり知らない
- 3. ある程度知っている
- 4. よく知っている

〔注〕臨床試験：薬や医療用具などの有効性や安全性などを検討するために行われる人を対象とした研究のこと

患者さん本人がご記入の場合は、続けてください。

ご本人以外の方がご記入の場合は、こちらで調査終了です。ご協力ありがとうございました。

問6 6. 以下の文章の内容は患者さんにどの程度当てはまるかを答えてください（○は1つ）

	あまり そう 思わ ない	どちら とも い ない	や や そう 思 う	そ う 思 う
1. 病気になったことで、家族に負担（迷惑）をかけていると感じる	1	2	3	4 5
2. 病気になったことで、家族以外の周囲の人に負担（迷惑）を かけていると感じる	1	2	3	4 5
3. 病気と診断されてから周囲に不必要に気を使われていると感じる	1	2	3	4 5
4. （家族以外の）周囲の人から病気に対する偏見を感じる	1	2	3	4 5
5. 身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できる	1	2	3	4 5
6. 心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できる	1	2	3	4 5
7. 現在自分らしい日常生活を送れている	1	2	3	4 5

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

本調査に関することや、これまでのがん診療に関することについてご意見等ございましたら、ご記載ください。

ご協力ありがとうございました。

問1. 冒頭の説明を読み、この調査に参加することに同意しますか（○は1つ）

- 1. 同意します →次の問いへお進みください。
- 2. 同意しません →調査終了です。ありがとうございました。

問2. 回答者はどなたですか（○は1つ）

- 1. 患者本人 →問4へ
- 2. 家族 →問3へ
- 3. その他 ( ) →問3へ

問3. 【問2で（家族）または（その他）と答え方のみお答えください】  
ご本人以外が回答される理由をお答えください（○は1つ）

- 1. 本人が体調不良のため
- 2. 体調不良はないが、本人の回答が困難なため
- 3. 亡くなったため
- 4. その他 ( )

## 患者体験調査 アンケート用紙

こちらのアンケート用紙を返信用封筒に入れ、そのままポストにご投函ください。

調査票、及び返信用封筒に住所・氏名を記入する必要はありません。



ここからは「治療前」のことについてお伺いします。

2種類以上のがんについて治療された場合には、主な治療をしたがんについてお答えください。  
また、以降の問いに関しても、そのがんについてお答えください。

**問11. なんらかの症状や検診で異常があつて初めて病院・診療所を受診した日から、医師からがんと診断されるまで（「がんの疑い」を含みません）、おおよそどのくらいの時間がかかりましたか（○は1つ）**

1. 2週間未満
2. 2週間以上 1ヶ月未満
3. 1ヶ月以上 3ヶ月未満
4. 3ヶ月以上 6ヶ月未満
5. 6ヶ月以上
6. わからない

**問12. 医師からがんと診断されてから（「がんの疑い」を含みません）、最初の治療が始まるまで、おおよそどのくらいの時間がかかりましたか（○は1つ）**

1. 診断される前に治療が行われていた
2. 2週間未満
3. 2週間以上 1ヶ月未満
4. 1ヶ月以上 3ヶ月未満
5. 3ヶ月以上 6ヶ月未満
6. 6ヶ月以上
7. 治療なし
8. わからない

**問13. あなたは、「がんの治療」を決めるまでの間に、医療スタッフから治療に関する十分な情報を得ることができましたか（○は1つ）**

1. まったく得られなかった
2. あまり得られなかった
3. どちらともいえない
4. ある程度得られた
5. 十分得られた

一部のがん治療は、不妊へ影響することがあります。

問14から問17は、他の質問同様に年齢／性別に関係なく、すべての方がお答えください。

**問14. 最初のがん治療が開始される前に、医師から不妊症になる可能性について説明がありましたか？（○は1つ）**

1. 不妊への影響がある、という説明を受けた → 問15へ
2. 不妊への影響はない、という説明を受けた → 問16へ
3. 説明はなかった → 問16へ
4. わからない → 問16へ

**問15. 【問14で（不妊への影響がある、という説明を受けた）と答えた方のみお答えください】  
がん治療により不妊症になる可能性があることについて、それを予防する、あるいは、子供を作る機能を温存するための具体的な方法を医師から説明されましたか（○は1つ）**

1. 予防・温存の具体的な方法については説明がなかった
2. 予防・温存の具体的な方法は存在しないと説明があった
3. 予防・温存の具体的な方法を説明された
4. わからない

**問16. 最初のがん治療が開始される前に、医師から不妊症になる可能性について説明は必要でしたか（○は1つ）**

1. 必要であった
2. 必要ではなかった

**問17. がん治療による不妊症になる可能性に対応するために、実際に、精子や卵子等の保存や、治療方法の変更（薬の変更を含む）を行いましたか（○は1つ）**

1. 行った
2. 行われなかった
3. わからない

ここからは「治療中」のことについてお伺いします。

**問 1 8. 治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したことがありますか (○は 1 つ)**

- 1. ある → 問 1 9 へ
- 2. ない → 問 2 0 へ

**問 1 9. [問 1 8 で (ある) と答えた方のみお答えください]  
治療費用負担の問題が無ければ受けたであろう治療は以下のどれでしたか  
(当てはまるものすべてに○)**

- 1. 保険診療範囲外の治療 (先進医療を含む)
- 2. 保険診療範囲内の治療

**問 2 0. がんの治療で次に挙げたような自費診療 (保険診療範囲外) を受けましたか ?  
(当てはまるものすべてに○)**

- 1. 先進医療
- 2. その他 ( )
- 3. 自費診療は受けなかった

**問 2 1. がんの治療中に民間の医療保険を利用しましたか (○は 1 つ)**

- 1. 利用した
- 2. 利用しなかった
- 3. わからない

**問 2 2. 病院で医療を受けるために必要な金銭的負担が原因で、次に挙げたようなことがありましたか  
(当てはまるものすべてに○)**

- 1. 日常生活における食費、衣料費を削った
- 2. 受診の間隔を延ばしたり、受診を一時的に見送ったりした
- 3. 主治医に処方薬や治療法を安価なものに変更してもらった
- 4. 治療頻度や治療内容 (薬など) を主治医に相談せずに自分で減らした
- 5. 長期に貯蓄していた貯金を切り崩した
- 6. 収入を増やすため、家族が仕事を増やした、あるいは働くようになった
- 7. 金銭的負担のために患者本人が仕事を続けた、あるいは、転職した
- 8. 親戚や他人から金銭的援助を受けた (借金を含む)
- 9. 車、家、土地などを手放した、あるいは引っ越した
- 10. 家族の進学先を変更した (進学をやめた/転校した)
- 11. その他 ( )
- 12. 上記のようなことは無かった
- 13. わからない

問23. 治療のことについてお答えください。なお、治療をしなかった方【問9で（治療していない）と回答された方】は、問24へお進みください。

(1) 治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得られましたか (○は1つ)

- |                |               |              |
|----------------|---------------|--------------|
| 1. まったく得られなかった | 2. あまり得られなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. ある程度得られた    | 5. 十分得られた     |              |

(2) 生活上の留意点について（食事や注意すべき症状など）医療スタッフから十分な情報を得られましたか (○は1つ)

- |                |               |              |
|----------------|---------------|--------------|
| 1. まったく得られなかった | 2. あまり得られなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. ある程度得られた    | 5. 十分得られた     |              |

(3) 治療による副作用の予測などに関してどの程度見通しを持っていましたか (○は1つ)

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| 1. まったく持てなかった | 2. あまり持てなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. ある程度持てた    | 5. 十分持てた     |              |

(4) つらい時はすみやかに対応してくれましたか (○は1つ)

- |                   |                  |              |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. まったく対応してくれなかった | 2. あまり対応してくれなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. ある程度対応してくれた    | 5. 十分に対応してくれた    |              |

(5) がん治療を担当した医師はどの程度相談しやすかったですか (○は1つ)

- |                   |                  |              |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. まったく相談しやすくなかった | 2. あまり相談しやすくなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. ある程度相談しやすかった   | 5. とても相談しやすかった   |              |

(6) がん治療を担当した医師以外で相談しやすい医療スタッフはいましたか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

(7) 医療スタッフは、あなた（患者さん）の言葉に耳を傾け、どの程度理解しようとしてくれましたか (○は1つ)

- |                       |                  |              |
|-----------------------|------------------|--------------|
| 1. まったく理解しようとしてくれなかった | 2. あまり理解してくれなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. ある程度理解しようとしてくれた    | 5. 十分理解しようとしてくれた |              |

(8) あなた（患者さん）のことに関して治療に関係する医療スタッフ間で十分に共有されていきましたか (○は1つ)

- |                   |                  |              |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. まったく共有されていなかった | 2. あまり共有されていなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. ある程度共有されていた    | 5. 十分共有されていた     |              |

(9) がん治療を担当した医師は専門的な医療を提供してくれましたか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

ここからは「診断から治療の全期間」のことについてお伺いします。

**問 2 4. セカンドオピニオン<sup>【注】</sup>について担当医から説明がありましたか (○は 1 つ)**

- 1. 説明があった →問 2 5 へ
- 2. 説明はなかった →問 2 6 へ

【注】セカンドオピニオン：診断治療に関して、現在診療を行っている医師とは別の医療機関の医師の意見を聞くこと

**問 2 5. 【問 2 4 で (説明があった) と答えた方のみお答えください]**

**セカンドオピニオンについて担当医から説明を受けたのはいつですか (当てはまるものすべてに○)**

- 1. がんの疑いがあり診断が確定する前
- 2. がんの診断時
- 3. 診断後、初回治療までの間
- 4. 初回治療中
- 5. その他 ( )

**問 2 6. 実際にセカンドオピニオンを受けましたか (○は 1 つ)**

- 1. 受けた
- 2. 受けなかった
- 3. わからない

**問 2 7. がんと診断されてから、病気のことや療養生活に関して誰かに相談することができましたか (○は 1 つ)**

- 1. 相談を必要としなかった
- 2. 相談が必要だったが、相談できなかった
- 3. 相談できた

相談内容を、差し支えなければ最後の自由記載欄にお書きください。

**問 2 8. がん治療による外見の変化(脱毛や皮膚障害などを含む)に関する悩みを誰かに相談できましたか (○は 1 つ)**

- 1. 相談を必要としなかった
- 2. 相談が必要がわからなかった
- 3. 相談したかったが、できなかった
- 4. 相談できた

**問 2 9. 今回のがんの診断・治療全般について総合的に 0 - 10 で評価すると何点ですか？  
0 点が考えられる最低の医療、10 点が考えられる最高の医療とします (数字 1 つに○)**

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  
(考えられる最低) (考えられる最高)

受けた医療についてのご意見がある方は、最後の自由記載欄にお書きください。



ここからは「就労」のことについてお伺いします。

問30. 患者さんは、がんと診断された時、収入のある仕事をしていますか（○は1つ）

- 1. はい → 問31へ
- 2. いいえ → 問39へ

問31. 【問30で（はい）と答えた方のみお答えください】  
主とするお仕事における就業形態についてお答えください（○は1つ）

- 1. 正規の職員・従業員
- 2. パート・アルバイト
- 3. 契約職員・嘱託職員
- 4. 派遣職員
- 5. 個人事業主（自家営業の手伝い含む） → 問33へ
- 6. 会社の役員
- 7. その他（ ）

問32. 【問31で（個人事業主（自家営業の手伝い含む））と答えた方以外お答えください】  
治療と仕事を両立するために利用したものについて、お答えください（当てはまるものすべてに○）

- 1. 両立に関して専門の担当者や産業医へ相談をした
- 2. 時間単位、半日単位の休暇制度（定期的・不定期に取得する休暇）
- 3. 傷病休暇・病氣休暇
- 4. 時差出勤（長さは所定の労働時間で出勤をずらす）
- 5. 短時間勤務制度（所定労働時間を一定期間、短縮する制度）
- 6. 在宅勤務（テレワーク）
- 7. 試し出勤（長期間休業していた者に対し、復職時に一定期間、時間や日数を短縮した勤務を行うこと）
- 8. その他（ ）
- 9. 上記のものは利用していない

問33～38は、がんと診断されたときに、収入のある仕事をしていた方にお伺いします。  
仕事をしていたなかった方は、問39へお進みください。

問33. その時働いていた職場や仕事上の関係者にがんと診断されたことを話しましたか（○は1つ）

- 1. 話した → 問34へ
- 2. 話さなかった → 問35へ
- 3. わからない → 問35へ

問34. 【問33で（話した）と答えた方のみお答えください】  
がんと診断されたことを誰に話しましたか（当てはまるものすべてに○）

- 1. 所属長・上司
- 2. 同僚
- 3. 部下
- 4. 人事労務担当者
- 5. 会社の医療スタッフ
- 6. 労働組合
- 7. 勤務先相談窓口
- 8. その他（ ）

問35. がんの治療中に、職場や仕事上の関係者から、治療と仕事を両方続けられるような勤務上の配慮が十分に受けられましたか（○は1つ）

- 1. まったく受けられなかった
- 2. あまり受けられなかった
- 3. どちらともいえない
- 4. ある程度受けられた
- 5. 十分受けられた

問36. 治療を始める前に就労の継続について、病院の医療スタッフから話がありましたか（○は1つ）

- 1. あった
- 2. なかった

問37. 治療を始める前に就労の継続について、病院の医療スタッフからの説明を必要としていましたか（○は1つ）

- 1. 必要としていなかった
- 2. 必要としていた
- 3. わからない

問38. がんできて初めて治療・療養した以降の仕事状況についてお答えください  
 (1) がんと診断された時の仕事について、がん治療のために以下のようなことがありましたか (○は1つ)

1. 休職・休業はしたが、退職・廃業はしなかった →(2)①と②へ
2. 退職・廃業した →(3)①と②へ
3. 上記のようなことはなかった →次ページ(問39)へお進みください
4. わからない →次ページ(問39)へお進みください

(2) 休職・休業された方にお尋ねします

①休職・休業中に利用した制度についてお答えください (当てはまるものすべてに○)

1. 有給休暇
2. 有給休暇以外の金銭的保障 (賞金、傷病手当金、療養見舞金等) を伴う休み
3. 金銭補償を伴わない休み
4. その他 ( )

②その後、どのようにされましたか (○は1つ)

1. (少なくとも一度は)復職した
2. (一度も)復職してない

(3) 退職・廃業をされた方にお尋ねします

①退職のタイミングをお聞かせください (○は1つ)

1. がんの疑いがあり診断が確定する前
2. がん診断直後
3. 診断後、初回治療を待っている間
4. 初回治療中
5. 初回治療後から当初予定していた復職までの間
6. 一度復職したのち
7. その他 ( )

②その後、どのようにされましたか (○は1つ)

1. 再就職・復業した
2. 再就職・復業の希望はあるが現時点では無職
3. 再就職・復業の希望はない
4. その他 ( )

退職の理由に関して、差し支えなければ最後の自由記載欄にお書きください。

ここからは「現在」のことについてお伺いします。

以降の問いは、記入者の方のご意見をお伺いします。

問39. 一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思いませんか (○は1つ)

1. そう思わない
2. あまりそう思わない
3. どちらともいえない
4. ややそう思う
5. そう思う

問40. がん患者の家族の悩みや困りごとを相談できる支援・サービス・場所が十分あると思いませんか (○は1つ)

1. そう思わない
2. あまりそう思わない
3. どちらともいえない
4. ややそう思う
5. そう思う

問4 1. がん相談支援センター「注」を知っていますか (○は1つ)

- 1. 知っている →問4 2 へ
- 2. 知らない →問4 5 へ

「注」がん相談支援センター：全国のがん診療連携拠点病院などに設置されているがんに関する相談窓口

問4 2. 【問4 1で（知っている）と答えた方のみお答えください】

これまでに、がん相談支援センターを利用したことがありますか (○は1つ)

- 1. 利用したことがある →問4 3 へ
- 2. 利用したことはない →問4 4 へ

問4 3. 【問4 2で（利用したことがある）と答えた方のみお答えください】

がん相談支援センターを利用してどの程度役に立ったと思いますか (○は1つ)

- 1. 役に立たなかった
- 2. あまり役に立たなかった
- 3. どちらともいえない
- 4. やや役に立った
- 5. とても役に立った

問4 4. 【問4 2で（利用したことはない）と答えた方のみお答えください】

利用しなかった理由についてお聞かせください (当てはまるものすべてに○)

- 1. 必要としていたときには知らなかった
- 2. 相談したいことはなかった
- 3. 何を相談する場なのかわからなかった
- 4. プライバシーの観点から行きづらかった
- 5. 自分の相談を受け止めてもらえないか自信がなかった
- 6. 他の患者の目が気になった
- 7. その他 ( )

問4 5. ピアサポート「注」を知っていますか (○は1つ)

- 1. 知っている →問4 6 へ
- 2. 知らない →問4 9 へ

「注」ピアサポート：患者・経験者やその家族がピア（仲間）として体験を共有し、共に考えることで、患者や家族等を支援すること

問4 6. 【問4 5で（知っている）と答えた方のみお答えください】

これまでに、ピアサポートを利用したことがありますか (○は1つ)

- 1. 利用したことがある →問4 7 へ
- 2. 利用したことはない →問4 8 へ

問4 7. 【問4 6で（利用したことがある）と答えた方のみお答えください】

ピアサポートを利用してどの程度役に立ったと思いますか (○は1つ)

- 1. 役に立たなかった
- 2. あまり役に立たなかった
- 3. どちらともいえない
- 4. やや役に立った
- 5. とても役に立った

問4 8. 【問4 6で（利用したことはない）と答えた方のみお答えください】

利用しなかった理由についてお聞かせください (当てはまるものすべてに○)

- 1. 必要としていたときには知らなかった
- 2. 相談したいことはなかった
- 3. 何を相談する場なのかわからなかった
- 4. プライバシーの観点から行きづらかった
- 5. 自分の相談を受け止めてもらえないか自信がなかった
- 6. 他の患者の目が気になった
- 7. その他 ( )

**問49. 臨床試験<sup>注1</sup>とは何か知っていますか（○は1つ）**

1. 聞いたことがない
2. 聞いたことはあるが、あまり知らない
3. ある程度知っている
4. よく知っている

「注」臨床試験：薬や医療用具などの有効性や安全性などを検討するために行われる人を対象とした研究のこと

**問50. ゲノム情報を活用したがん医療<sup>注1</sup>について、知っていますか（○は1つ）**

1. 聞いたことがない
2. 聞いたことはあるが、あまり知らない
3. ある程度知っている
4. よく知っている

「注」ゲノム情報を活用したがん医療：がん細胞の遺伝子の異常を調べ、それに基づき治療を行うこと

患者さんご本人の「現在」のことについてお伺いします。

**患者さん本人**がご記入の場合は、続けてください。

**ご本人以外**の方がご記入の場合は、問63へお進みください。

**問51. がんになったことで、家族に負担（迷惑）をかけていると感じますか（○は1つ）**

1. まったく感じたことはない
2. あまり感じない
3. どちらともいえない
4. ときどき感じる
5. よく感じる

**問52. がんになったことで、家族以外の周囲の人に負担（迷惑）をかけていると感じますか（○は1つ）**

1. まったく感じたことはない
2. あまり感じない
3. どちらともいえない
4. ときどき感じる
5. よく感じる

**問53. がんと診断されてから周囲に不必要に気を使われていると感じますか（○は1つ）**

1. まったく感じたことはない
2. あまり感じない
3. どちらともいえない
4. ときどき感じる
5. よく感じる

**問54. （家族以外の）周囲の人からがんに対する偏見を感じますか（○は1つ）**

1. まったく感じたことはない
2. あまり感じない
3. どちらともいえない
4. ときどき感じる
5. よく感じる

問55. 身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できますか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問56. 心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できますか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問57. 現在自分らしい日常生活を送れていますか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問58. がんやがん治療に伴う痛みがありますか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問59. がんやがん治療に伴う痛みに加えて、吐き気、息苦しさ、だるさ、しびれ、かゆみなど、からだの苦痛がありますか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問60. がんやがん治療に伴い、気持ちがつらいですか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問61. がんやがん治療にともなう身体の苦痛や気持ちのつらさにより、日常生活を送る上で困っていることがありますか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問62. 身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分ですか (○は1つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

診断時の状況について

2020年以降に患者さん本人のがんと診断された時の状況についてお伺いします。  
(2種類以上のがんについて治療された場合には、主に治療したがんについてお答えください)

問63. がんと診断された時、患者さんご本人と同居していた家族はいましたか (○は1つ)

1. 同居していた家族はいた → 問64へ  
2. 同居していた家族がいなかった → 問65へ

問64. 【問63で (同居していた家族はいた) と答え方のみお答えください】

がんと診断された時、同居および世帯を共にしていた家族構成についてお答えください。  
該当する家族がいた場合はその人数を記載してください。いなかった場合は、0名と記載してください。

1. 患者の親 ( 名)  
2. 患者の兄弟姉妹 ( 名)  
3. 患者の配偶者 (いる/いない)  
4. 患者の子 ( 名)  
5. その他 ( )

差し支えなければ、下記の質問に関してお答えください。  
答えたくない質問がある場合は、空欄のままです。

問65. 診断時の患者さん本人の最終学歴についてお答えください (○は1つ)

1. 小学校または中学校卒業  
2. 高等学校卒業  
3. 短大・高専卒業  
4. 4年制大学卒業  
5. 大学院卒業  
6. その他 ( )

問66. 診断時の患者さんの世帯年収についてお答えください (○は1つ)

1. 400万円未満  
2. 400万円以上、800万円未満  
3. 800万円以上

問67. この1年で、家計の支払い (税金、保険料、通信費、電気代、クレジットカードなど) に困ったことはありましたか (○は1つ)

1. ない  
2. 1回ある  
3. 2~3回ある  
4. 4~5回ある  
5. 6回以上ある

問68. この1年間に、給与や年金の支給日前に、暮らしに困ることがありましたか (○は1つ)

1. ない  
2. 1回ある  
3. 2~3回ある  
4. 4~5回ある  
5. 6回以上ある

問69. 友人・知人と連絡する機会<sup>[注]</sup>はどのくらいありますか (○は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1~2回 | 3. 月に1~2回 |
| 4. 年に数回   | 5. なし     |           |

[注] 連絡方法は電話、メール、手紙など何でも構いません

問70. 家族や親せきと連絡する機会<sup>[注]</sup>はどのくらいありますか (○は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1~2回 | 3. 月に1~2回 |
| 4. 年に数回   | 5. なし     |           |

[注] 連絡方法は電話、メール、手紙など何でも構いません

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。  
ご意見等ございましたら、アンケート最終ページの自由記載欄にお書きください。

問71~84は、がんと診断されたことがない方にお伺います。

<現在通院中の病気について、診断・治療を受ける上での考えについてお答えください。>  
現在通院中の病気がない場合は、2021年に診断された病気のうち主なものについてお答えください。

問71. 患者さんが通院中の病気<sup>①</sup>で当てはまるものをすべてお答えください (当てはまるものすべてに○)

- |             |              |                      |
|-------------|--------------|----------------------|
| 1. 高血圧      | 2. 糖尿病       | 3. 脂質異常 (高コレステロールなど) |
| 4. 胃、腸の病気   | 5. 甲状腺の病気    | 6. 喘息や呼吸器の病気         |
| 7. 心臓の病気    | 8. 腎臓、前立腺の病気 | 9. 肝臓、胆のうの病気         |
| 10. 脳卒中、脳梗塞 | 11. 精神・神経の病気 | 12. 貧血など血液の病気        |
| 13. 骨・関節の病気 | 14. その他( )   |                      |

ここからは「治療前」のことについてお伺いします。

問72. 治療を決めるまでの間に、医療スタッフから治療に関する十分な情報を得ることができましたか (○は1つ)

- |                |               |              |
|----------------|---------------|--------------|
| 1. まったく得られなかった | 2. あまり得られなかった | 3. どちらともいえない |
| 4. ある程度得られた    | 5. 十分得られた     |              |

ここからは「治療中」のことについてお伺いします。

問73. 治療中のことについてのお答えください。

(1) 治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得られましたか (○は1つ)

1. まったく得られなかった
2. あまり得られなかった
3. どちらともいえない
4. ある程度得られた
5. 十分得られた

(2) 生活上の留意点について (食事や注意すべき症状など) 医療スタッフから十分な情報を得られましたか (○は1つ)

1. まったく得られなかった
2. あまり得られなかった
3. どちらともいえない
4. ある程度得られた
5. 十分得られた

(3) 治療による副作用の予測などに関してどの程度見通しを持ってましたか (○は1つ)

1. まったく持てなかった
2. あまり持てなかった
3. どちらともいえない
4. ある程度持てた
5. 十分持てた

(4) つらい時はすみやかに対応してくれましたか (○は1つ)

1. まったく対応してくれなかった
2. あまり対応してくれなかった
3. どちらともいえない
4. ある程度対応してくれた
5. 十分に対応してくれた

(5) 治療を担当した医師はどの程度相談しやすかったですか (○は1つ)

1. まったく相談しやすくなかった
2. あまり相談しやすくなかった
3. どちらともいえない
4. ある程度相談しやすかった
5. とても相談しやすかった

(6) 治療を担当した医師以外で相談しやすい医療スタッフはいましたか (○は1つ)

1. そう思わない
2. あまりそう思わない
3. どちらともいえない
4. ややそう思う
5. そう思う

(7) 医療スタッフは、あなた (患者さん) の言葉に耳を傾け、どの程度理解しようとしてくれましたか (○は1つ)

1. まったく理解しようとしてくれなかった
2. あまり理解してくれなかった
3. どちらともいえない
4. ある程度理解しようとしてくれた
5. 十分理解しようとしてくれた

(8) あなた (患者さん) のことに関して治療に関係する医療スタッフ間で十分に共有されていましたか (○は1つ)

1. まったく共有されていなかった
2. あまり共有されていなかった
3. どちらともいえない
4. ある程度共有されていた
5. 十分共有されていた

(9) 治療を担当した医師は専門的な医療を提供してくれましたか (○は1つ)

1. そう思わない
2. あまりそう思わない
3. どちらともいえない
4. ややそう思う
5. そう思う

問74. 今回の病気の診断・治療全般について総合的に0-10で評価すると何点ですか？

0点が考えられる最低の医療、10点が考えられる最高の医療とします (数字1つに○)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10  
(考えられる最低) (考えられる最高)

受けた医療についての意見がある方は、最後の自由記載欄にお書きください



ここからは「現在の」のことについてお伺いします。

以降の問いは、記入者の方の意見をお伺いします

**問75. 一般の人が受けられる医療は数年前と比べて進歩したと思えますか（○は1つ）**

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

**問76. 患者の家族の悩みや困りごとを相談できる支援・サービス・場所が十分ありますか（○は1つ）**

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

**問77. 臨床試験<sup>〔注〕</sup>とは何か知っていますか（○は1つ）**

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1. 聞いたことがない  | 2. 聞いたことはあるが、あまり知らない |
| 3. ある程度知っている | 4. よく知っている           |

〔注〕臨床試験：薬や医療用具などの有効性や安全性などを検討するために行われる人を対象とした研究のこと

患者さん本人がご記入の場合は、続けてください。

ご本人以外の方がご記入の場合は、こちらで調査終了です。ご協力ありがとうございました。

**問78. 病気になることで、家族に負担（迷惑）をかけていると感じますか（○は1つ）**

- |                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 1. まったく感じたことはない | 2. あまり感じない | 3. どちらともいえない |
| 4. ときどき感じる      | 5. よく感じる   |              |

**問79. 病気になることで、家族以外の周囲の人に負担（迷惑）をかけていると感じますか（○は1つ）**

- |                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 1. まったく感じたことはない | 2. あまり感じない | 3. どちらともいえない |
| 4. ときどき感じる      | 5. よく感じる   |              |

**問80. 病氣と診断されてから周囲に不必要に氣を使われていると感じますか（○は1つ）**

- |                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 1. まったく感じたことはない | 2. あまり感じない | 3. どちらともいえない |
| 4. ときどき感じる      | 5. よく感じる   |              |

**問81. （家族以外の）周囲の人から病氣に対する偏見を感じますか（○は1つ）**

- |                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 1. まったく感じたことはない | 2. あまり感じない | 3. どちらともいえない |
| 4. ときどき感じる      | 5. よく感じる   |              |

問 8 2. 身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思いますか (○は 1 つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問 8 3. 心のつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思いますか (○は 1 つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

問 8 4. 現在自分らしい日常生活を送れていると思いますか (○は 1 つ)

- |           |              |              |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. そう思わない | 2. あまりそう思わない | 3. どちらともいえない |
| 4. ややそう思う | 5. そう思う      |              |

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

本調査に関することや、これまでのがん診療に関することについてご意見等ございましたら、ご記載ください。

ご協力ありがとうございました。